

自力の
御はからい
にては
真実の報土へ
生まる
べからざるなり
「親鸞聖人
御消息」

ほうきさん

2018年 6月

椋本673 存仁寺



丸橋美優喜さん作

— 金剛心 — 信心の人を、ゆるがぬ堅固なところをさして「金剛心をえた人」という

富山市八尾では九月一日〜三日まで「おわら風の盆」が営まれます。養蚕が盛んであった時代、孟蘭盆会の頃が忙しくお参りにいけなかったので、蚕が一段落出来た時、吹きはじめた秋風の中を、謹んでお礼と感謝の念を込め法悦にふれたそうです。その念仏踊りが時代とともに広がり、現代にいたるそうですが、その拠点となるお寺が聞名寺様です。三度目のご縁をいただきました。ご聴聞で来られた隣寺の衆徒増田さんが、明如上人の讃仰碑があるので、ご案内くださいました。山道を10分程車で登りますと田畑の中に碑は建っていました。ここから遠く海に浮かぶ船が見えたので船尾山というのですが、今は藪で見えません。「南無阿弥陀佛」と六字名号と「明治十年の秋 化導のため 飛州より越中へ行きはべりしとき この船の尾山に休らいけるに 人びと来たり集えるをみて『法のため 遠く越路の甲斐ありて 船の尾山に集う諸人』光尊記之」（現代文改め）と地元の森宗三郎同行が建立した「讃仰碑」に刻まれていました。明治に入り天皇を中心とした中央集権国家の形成をめざす政府は神道国教化政策を推進していきましました。明治元年「神仏分離令」を布告、明治三年には「大教宣布」の詔勅を発布、神道を主とした政策が勧められていく中、過激化され寺院や仏具の破壊、經典が焼失、僧侶は還俗という嵐が吹きました。全国のお寺が半分になったそうです。特に富山藩では激しかったといわれました。その中、明如上人は島地黙雷・赤松連城・大洲鉄然ら維新政府と関わり深い長州出身の僧侶をヨーロッパ各国に派遣し、近代国家の宗教事情を視察、政府に対して近代国家のあり方として「政教分離」を働きかけ、廃仏毀釈を沈静化させました。そして、全国を巡回して念仏申し、念仏法に生きることをお伝えくださったそうです。「私は僧侶となり念仏申させていただくのも、先人の様々な御苦勞があったことが身に沁みます」と静かにおっしゃいました。

「自力の 御はからいにては 真実の報土へ 生まるべからざるなり」 今月は、親鸞聖人が関東の門弟に宛てて書かれたお手紙（御消息）の中にある言葉です。このお手紙には「笠間の念仏者の疑いとはれたる事」という題がつけられています。門弟たちの質問に答えるかたちで「自力・他力」ということについて解説されているのです。まず、「自力」とは、行者一人ひとりがであつた教えにしたがって、いろいろな仏さまの名を称えたり、さまざまな善行を積み重ね、それらの修行に励んだという自分自身を頼りとし、また自分自身の善悪の判断にもとづいて、常に身のふるまいを正し、言葉遣いに気をつけ、心が乱れたらそれを取り繕い、立派にするように心がける。そして、このような生き方をしている自分であればきつと往生できるだろうと期待すること、これを「自力」というのです、といわれています。そして、「他力」ということについては、阿弥陀さまの（四十八の）お誓いの中で、「あらゆる行を選び捨て、ただ念仏一行を選び取って往生決定の行とする」と誓われた第十八願（念仏往生）を、疑いなく聞き入れて喜ぶことを「他力」という、といわれています。法然聖人は「選択本願念仏集」という書物の中で、第十八願にこそ、阿弥陀さまは平等の慈悲の心をもって「どうしたらすべての人びとをもらさず救いとることができるか」ということを深く考えぬかれ、戒律や禅定、造像、起塔などは、限られた人しか救われない難しい行であるから選び捨てられ、もつとも行じやすくたもちやすい称名念仏一行こそが、すべての人びとを救いとることができする方法であるとして、これを「選び取る」という本願をおこされたのであるといわれるのです。阿弥陀さまの大悲のお心があらわれた誓願であるから、阿弥陀さまの救いについて私たちがあれこれとはからうことではないとおっしゃったのです。親鸞聖人も法然聖人の教えを受け継いでおられるのです。一般的に考えられるような「自分の力・他の力」という意味ではないのです。「すべての人びとを救おう願い立たれ、今その願いのとおり、すべての人びとを救いつつある阿弥陀さまの救済力」のことを「他力」といわれ、自分のはからいをもつて往生を願うことを「自力」といわれていました。

6月の行事

- 1日(金) 6時30分 おあさじ
 2日(土) 8時 マキ刈り出合い
 17時 寺ヨガ
 7日(木) 13時30分 コーラス
 10日(日) 13時30分 蓮如忌法要
 16日(土) 6時30分 おあさじ
 18日(月)～19日(火)



鈴鹿組仏壮念仏奉仕団 本願寺

7月の行事

- 1日(日) 6時30分 おあさじ
 3日(火) コーラス 名古屋別院音楽つどい
 4日(水) 町仏教会夏季法要準備会 西方寺
 7日(土) 17時 お寺ヨガ
 15日(日) 津、亀山お盆
 16日(月) 6時30分 おあさじ
 19日(木) 無量寿会一日研修 湯守座
 22日(日) 16時00分 仏教壮年会例会



親睦バーベキュー

- 28日(土) 7時30分 仏教婦人会墓地清掃
 13時 芸濃町仏教会夏季法要
 河内 淨得寺様

宗派・教区・鈴鹿組関連 6月・7月

- 6月1日(金) 東海教区仏教婦人会連盟・寺院女性連盟
 総会・研修会 名古屋別院
 3日(日) 鈴鹿組ご縁ウオーク専念寺
 10日(日) 鈴鹿組仏教婦人会ビハーク活動
 亀寿苑 10時～11時30分
 鈴鹿組聞信会総会・研修会
 11時～ 存仁寺
 18日(月)～19日(火) 鈴鹿組仏壮念仏奉仕団
 19日(火) 教区門徒総代会総会・研修会
 名古屋別院
 30日(土) 鈴鹿組連研準備会・門推会合
 教区仏教壮年会連盟総会・研修会
 7月2日(月) 教区連研スタッフ研修会
 3日(火) 東海仏教音楽のつどい 名古屋別院



お念仏のひろば ご案内

- 毎月17日津市丸の内 正覚寺様「紫雲会」
 6月17日(日)『^{さとり}覚の教え』
 奈良・浄教寺 古山款夫朗師 (聴講費700円)
 6月24日(日) 仏教婦人会例会 10時～12時
 「妙好人から味わう浄土真宗」正親一宣副住職

2018 仏のこどもサマーキャンプ

2018年7月24日(火)～25日(水)

鈴鹿峠自然の家(三重県亀山市)

小学3年生～中学3年生まで

(保護者同伴は3年生未満でも参加できます)

子ども 3500円 大人 5000円

6月末までにお寺に申し込んでください



お寺でヨガ!!! 6月2日(土)・7月7日(土)

午後5時より7時まで

この夏のテーマは・・・6月『神経を整えるヨガ』
 7月は『夏バテ予防ヨガ』です。

日常の中で感じるストレス、また知らぬ間に溜め込んでいる様々あります。今回はヨガのポーズと呼吸法でカラダの不調をセルフケア!また脳の若返り効果が期待できる『脳トレエクササイズ』もご紹介いたします。



総代会・世話方会より 護持経費前期分(または全納、積立金) ご懇念誠にありがとうございました。



今月は夏至、朝早く明るくなってきました。爽やかなひと時、毎月1日、16日 おあさじお参りください

修 善 飯田満様ご懇意によりスロープ、鐘撞堂階段手すり山門の塗工事をしていただいています。工事期間ご不便をおかけいたしますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます



お墓参りのお花は各自で処分お願いしています。
 諸事情で置いて行かれる方は分別にご協力下さい。